

名古屋城バリアフリーに関する市民討論会 市長挨拶

日時・場所 令和5年6月3日（土）14:00～16:10 中区役所6階会議室

<冒頭あいさつ骨子>

- ・本日は、名古屋城バリアフリーに関し、市民の意見を直接伺いたい。お忙しい中、お越しいただき誠にありがたい。
- ・市がこれまで取り組んできた名古屋城木造天守の復元とバリアフリーについて、きちんと知っていただいたうえで意見をいただき、そのうえでバリアフリーをどうしていくのか決めていきたい。
- ・本日は、有識者を招いているので、参考にしてもらって、理解を深めていただきたい。
- ・時間の許す限り、皆様からのご意見をいただければ幸いである。

<終了時コメント骨子>

- ・本日は、多くの方に様々なご意見をいただき、感謝申し上げます。
- ・本事業は、市民の精神的基柱であり、誇りである名古屋城天守閣を、悲しい歴史的史実を経て、昭和実測図や金城温古録等、豊富な歴史資料に基づき、戦災で焼失する前の本物の姿に復元し、世界に主張するものである。
- ・本日、貴重なご意見をお聞きしたので、復元する木造天守への垂直昇降技術の導入をどうしていくのか、じっくり考えたい。

<参考>

- 1 行事の目的
復元する木造天守への垂直昇降設備の設置について、市民から意見を聴取する
- 2 市長の立場
主催者
- 3 登壇者
司会&進行 都市研究所スペーシア 浅野、名古屋おもてなし武将隊 なつ
市長あいさつ 市長
有識者による講演 名古屋工業大学名誉教授 麓先生
名古屋市からの説明 名古屋城総合事務所長
討論会 愛知産業大学元学長 堀越先生
名古屋工業大学名誉教授 麓先生
一般社団法人バリアフリー総合研究所UDラボ東海代表理事 阿部様
- 4 当日の次第
13時00分 開場
14時00分 開会、本日の流れの説明
14時03分 市長開会あいさつ
14時05分 講演
14時35分 名古屋城木造復元とバリアフリーに関する説明
15時05分 休憩
15時15分 有識者からの解説
15時30分 討論会

16時00分	市長閉会あいさつ
16時02分	閉会
16時15分	市長囲み取材
16時30分	終了

「名古屋城バリアフリーに関する市民討論会」進行シナリオ

時間	内容	発言者	シナリオ	武将隊なつ の役割について 調整中
6/3				
13:45	15 分前 カゲアナ	司会	①本日は、「名古屋城バリアフリーに関する市民討論会」にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。みなさまに会場内のご案内を申し上げます。 ②体調維持のための水分補給を除き会場内でのご飲食は禁止となっております。 ③会話はなるべくお控えいただき、大声は出さないようお願いいたします。 ④当施設は敷地内禁煙となっております。 ⑤携帯電話・スマートフォンは、マナーモードに切り替えていただくか、電源をお切りください。 ⑥携帯電話・カメラなどを使用した撮影又は録音は禁止といたします。 ⑦客席通路は、非常の際の避難通路となるため、物を置かれませんようお願いいたします。 ⑧非常の際は会場のすべての扉を開放します。 ⑨大きな地震などの発生により、避難が必要な場合は、係員の指示に従っていただき、あわてずに避難していただきますよう、お願いいたします。 ⑩本日は、報道のカメラが入っております。予めご了解ください。【予め報道関係者に何を市民に確認してほしいか聞いておく】	
13:55	開会 5 分前	司会	あと5分ほどで「名古屋城バリアフリーに関する市民討論会」を開会いたします。もう、しばらくお待ちください。 【※開会 15 分前のカゲアナ①～⑩を繰り返す】	

時間	内容	発言者	シナリオ
6/3			
14:00	開会	司会	お待たせいたしました。 本日はお忙しい中、ご来場いただきまして誠にありがとうございます。 ただいまより「名古屋城バリアフリーに関する市民討論会」を開会いたします。 私は本日の司会進行を務めます、【浅野】と申します。 どうぞよろしくお願いいたします。 はじめに、本日の市民討論会の進行についてご説明いたします。 まず、名古屋城に関する講演、および名古屋城木造天守復元とバリアフリーの説明を 50 分ほど行います。 その後、休憩に入りまして、後半は討論会を行います。 お時間には限りがございますので、進行にご協力くださいますようお願いいたします。 説明会は午後 4 時 10 分頃終了予定となっております。 次に、本日お配りした資料についてご案内をいたします。 受付で討論会冊子、質問票、参加者アンケートをお配りしております。説明内容はスクリーンで映写いたしますが、お手元の資料でもご確認いただけます。 退場は、混雑緩和のため、会場の前半分と後半分を分けまして、後ろのかたから退場をご案内させていただきます。(←言わなくても？小鹿) なお、報道機関による取材が入っている（入る場合がある）ほか、撮影を行っておりますので、ご了承くださいようお願いいたします。 はじめに開会にあたりまして、名古屋市長河村たかしより、一言ご挨拶を申し上げます。
14:02	挨拶 2 分	河村 市長	市長挨拶（2 分）

時間 6/3	内容	発言者	シナリオ
14:04		司会	ありがとうございました。 それでは、「」と題しまして、名古屋工業大学名誉教授 麓和善（ふもと かずよし）様より講演をいただきます。 麓先生は、日本建築史・文化財保存修復をご専門とされており、日本の城郭史や日本伝統建築工法の研究を行っておられます。名古屋城跡の全体整備検討会議の委員としても大変お世話になっております。 皆様、拍手でお迎えください。
14:05	講演 30 分	麓先生	麓と申します。 ～～ ●説明者は、舞台上の説明者用演台でP C操作・説明（パワーポイント）
14:35		司会	麓先生、どうもありがとうございました。 それでは、名古屋城総合事務所長 上田（うえだ）より、名古屋城木造天守復元とバリアフリーについてご説明いたします。
14:36	説明 20 分	上田 所長	名古屋城総合事務所所長 上田と申します。 ～～ ●説明者は、舞台上の説明者用演台でP C操作・説明（パワーポイント）
14:55	休憩 アナウンス	司会	ありがとうございました。 それでは、15 分ほどの休憩とさせていただきます。 前半の講演や名古屋城のバリアフリーに関する説明について、ご質問がある方は「質問シート」にご記入の上、この休憩時間中に受付に提出してください。 後半に行う市民討論会で一部紹介させていただきます。 よろしくお願いいたします。 なお、ロビーでは名古屋城天守閣木造復元模型の展示や天守閣木造復元イメージのV R映像体験を行っておりますので、よろし

時間	内容	発言者	シナリオ
6/3			
			ければ休憩中にご覧ください。
14:55 ～ 15:10	休憩 換気		質疑応答者の机・イス・マイクを配置 会場のすべてのドアを開放
15:10	討論会 57 分	司会	司会とパネラー登壇

お待たせいたしました。ここからは、名古屋城木造天守復元とバリアフリーに関する討論会に移らせていただきます。

<① 有識者、なつ 紹介 (2 分) >

最初に、ご登壇いただいている有識者の先生方をご紹介します。

堀越哲美先生です。堀越先生は、元愛知産業大学学長で、都市環境、都市デザインがご専門です。久屋大通再生有識者懇談会の座長をはじめ、名古屋市の様々な施策の委員を歴任され、大変お世話になっております。

阿部一雄先生です。阿部先生は、趣味であるオートバイレース中の事故により車いす生活となりましたが、一級建築士として、障害者として独自の視点からバリアフリーの住まいづくりや施設づくりを進められています。

そして、先程講演をしていただいた、麓和義先生です。

次に、討論会の進行をお手伝いいただく、名古屋おもてなし武将隊のなつさんにご登場いただきます。ここからは、なつさんと共に討論会を進めてまいります。

まずは、なつさん、自己紹介をお願いします。

なつ (自己紹介)

<② 麓先生の講演について質問・理解を深める (10 分) >

想定キーワード：名古屋城跡、名古屋城木造天守復元の意義、文化財としての価値、他の城郭との比較 など

<②-1 有識者からの質問・感想>

司会：ありがとうございます。まずは、最初にご講演をいただいた麓先生のお話から理解を深めていこうと思います。麓先生のお話について、どういう感想を持ちましたか。

なつ (簡単に) ○○という感想を持ちました。

時間	内容	発言者	シナリオ
6/3			
	このあたり、お越しになっている先生方にもお聞きしてみたいですね。 堀越先生、麓先生のお話について、ご質問や感想をお聞かせください。 →堀越先生 回答		
	なつ なるほど、〇〇ということですね。ありがとうございます。 阿部先生、麓先生のお話についていかがでしょうか。 →阿部先生 回答		
	なつ なるほど、〇〇ということですね。ありがとうございます。 （例）普段私が活動している名古屋城が、全国のお城と比較しても素晴らしいんだということを改めて思いました。		
	<②-2 質問シートを使って会場からの質問・感想>		
	司会 なつさん、麓先生のお話については会場にお越しいただいた方からも質問をいただいているので、〇つ紹介いただきますか？ →質問シートをなつに渡す。		
	なつ （1枚ずつ、質問シートを読み上げる） このご質問を書いてくださった方、手を挙げてください。 ありがとうございます。		
	麓先生 （質問シートに回答）		
	※麓先生に対する質問シートが2つ以上あれば、これを繰り返す。		
	<②-3 バリアフリーアンケート回答の速報値>		
	なつ ところで浅野さん。今日会場にお越しのみなさんは、名古屋城のバリアフリーに関するアンケートにお答えいただいた人達ですよね。アンケートの集計はどこまで進んでいますか？		
	司会 はい、まだアンケートの入力に間違いがないか確かめている最中ですが、速報値としてご紹介します。 5000 人の方に無作為で郵送し、回答いただけたのは 件、回収率は %です。		
	なつ （アンケートに対する簡単な感想）		

時間	内容	発言者	シナリオ
6/3			
	<③ 前半の市による説明やアンケートの速報値を受けて有識者から意見（10分）> 司会 名古屋城に対する理解が深まったところで、次に移りましょう。なつさん、お願いします。 なつ はい、では、名古屋市の説明やアンケートの速報値の説明を受けて、まずは有識者の先生から順番にコメントをお願いします。阿部先生、いかがでしょうか。 ※順番はその場の流れで適宜。 →阿部先生 回答 なつ なるほど、〇〇ということですね。ありがとうございます。 では、麓先生、いかがでしょうか。 →麓先生 回答 なつ なるほど、〇〇ということですね。ありがとうございます。 では、堀越先生、いかがでしょうか。 →堀越先生 回答 なつ ありがとうございます。 先生方からは、今このようなコメントをいただきました。 <③-2 市民からの質問シート（5分）> 司会 なつさん、名古屋城木造天守復元とバリアフリーの市の方からの説明についても、会場にお越しいただいた方からも質問をいただいているので、〇つ紹介いただきますか？ →質問シートをなつに渡す。 なつ （1枚ずつ、質問シートを読み上げる） このご質問を書いてくださった方、手を挙げてください。 ありがとうございます。これについて、名古屋市の方、ご登壇いただいてご回答をお願いしますか。 →市の担当（質問シートに簡潔に回答）。 ※市の説明に対する質問シートが2つ以上あれば、これを繰り返す。		

時間	内容	発言者	シナリオ
6/3			
	<④ 市民からの意見（28分）> 司会 ありがとうございます。先生方のお話を一通りうかがえたところで、そろそろ会場のみなさんにもご意見をうかがえればと思います。なつさん、お願いします。 なつ そうですね。今日の市民討論会を楽しみに来ていただいたと思いますので、ぜひ、会場のみなさんからご発言をいただきたいと思います。 ご発言は、できるだけ多くの方からいただきたいので、だいたい3分以内で簡潔にご発言いただきますと幸いです。 （要検討：本日は、当日参加の方もおりますが、まずは、アンケートにお答えいただき、参加を希望された方に、ご意見伺いたいと思います。） 手を挙げていただきますと、係の者がマイクをお持ちしますので、ご発言は、マイクを通してお願いいたします。 （導水では、30秒前、時間になるとチャイムを鳴らしていた。） それでは、どなたかご質問のある方はいらっしゃいますか。 市民A （発言） なつ ありがとうございます。では、次の方はいかがでしょうか。 ※2～3人くらい聞いてみる。昇降機は付けない派、1階までバリアフリーにする派、5階まで付ける派のバランスを見てみる。 そのあと、先生方から1，2名ご意見をうかがってみる。司会が適宜フォローする。 なつ ここまで、会場の方からのご意見をうかがって、先生方からどなたか代表してご発言いただけたらと思いますが、いかがでしょうか。 〇〇先生 （発言） ※必要に応じて、会場の方からの追加意見と先生方との意見のやり取りをする。 頃合いを見計らって、司会からアナウンスする。 司会 ありがとうございます。まだ時間はありますので、なつさん、もう何人か市民のみなさんにお聞きしてもらえますか。 なつ 了解です。では、新たにご質問のある方はいらっしゃいますか。		

時間	内容	発言者	シナリオ
6/3			
市民D (発言) ※さらに、2～3人くらい聞いてみる。 なつ ありがとうございました。みなさんのご意見をお聞きすると、様々なご意見がありますね。先生方、ここまでお聞きしていかがでしょうか。 〇〇先生 (発言) ※必要に応じて、会場の方からの追加意見と先生方との意見のやり取りをする。 場合いを見計らって、司会からアナウンスする。 <⑤ 討論会の締め(2分)> 司会 そろそろ時間が迫ってまいりました。 なつ 最後に、各先生から一言ずつ今日のご感想を頂けたらと思います。 阿部先生・麓先生・堀越先生 (発言) なつ 先生方、ありがとうございました。 (なつさん、締めのことば)			
16:07	閉会	司会	ご登壇いただいた堀越先生、麓先生、阿部先生、そして進行をお手伝いいただいたなつさん、本日はありがとうございました。みなさんを拍手でお送りください。 ありがとうございました。 それでは、閉会の時間が参りましたので、河村市長より、一言、閉会のご挨拶を申し上げます。
16:08	挨拶 2分	河村 市長	閉会の挨拶(2分)
16:09	閉会	司会	ありがとうございました。 それでは、以上を持ちまして、「名古屋城バリアフリーに関する市民討論会」を終了いたします。 最後に、アンケートにご回答の上、受付で回収箱に入れていた

時間	内容	発言者	シナリオ
6/3			
			だけたら幸いです。 お忘れ物のないよう、お気をつけてお帰りください。



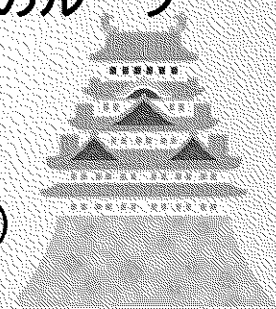
目次

1. 木造天守復元
2. バリアフリー対応
3. 木造天守復元の進捗状況と今後の予定

1. 木造天守復元

名古屋城の価値と意義

- 慶長15年（1610）築城開始
- 慶長18年（1613）以降、清須越が行われ、
城下町が誕生
- 名古屋の都市形成と文化・芸能・産業のルーツ
- 焼失前の天守は、城郭として
国宝（当時）第一号に指定
（参考：国宝（当時）第二号は姫路城）

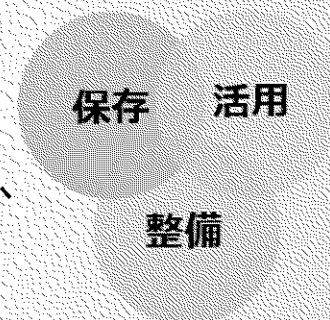


1

1. 木造天守復元

特別史跡名古屋城保存活用計画

- 平成30年度に策定
- 名古屋城を後世につなぐための**保存**、
魅力向上を図る**活用（公開）**、
保存と活用のための**整備**を進める



2

1. 木造天守復元 名古屋城「本丸」の整備

○本丸整備基本構想

近世期最高水準の技術により築城された
名古屋城の象徴である本丸の姿を現代に再現

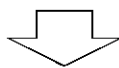
- 明治初期に姫路城とともに日本城郭の見本として永久保存されることとなった江戸期の名古屋城本丸の姿を再現する
- 現存する石垣、建造物等の適切な保存管理と現存しないものの段階的な復元等により、本丸全体を往時の姿が実体験できる場とする

3

1. 木造天守復元 名古屋城「天守」の整備

○木造天守復元の意義

世界最大級の高層木造建築物を外観に加えて、
内部空間の構造・意匠の細部に至るまで史実に忠実に復元



天守を外からの眺めと共に、天守内部に入り、体感して、
我が国の優れた文化と歴史、技術を知っていただく



特別史跡名古屋城跡の
本質的価値の向上と理解の促進

4

1. 木造天守復元 名古屋城「天守」の整備

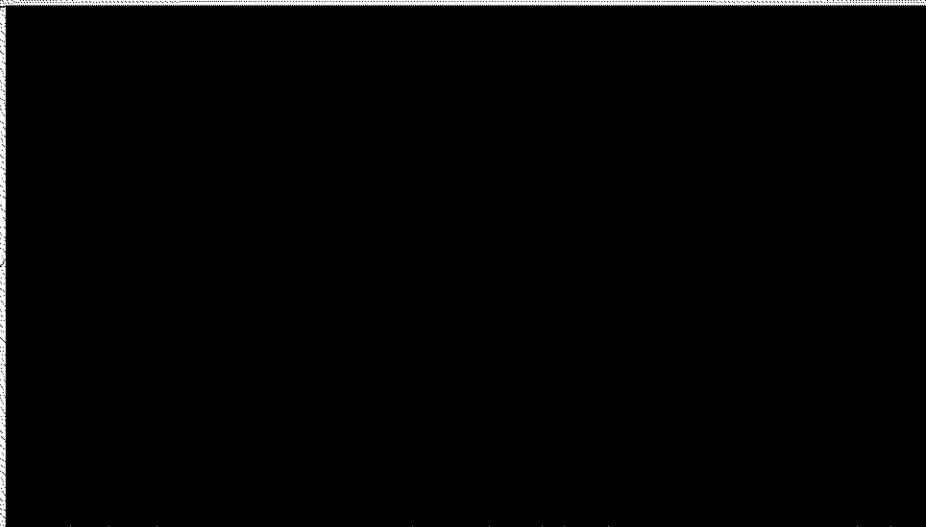
○木造天守復元の意義

逐条解説建築基準法編集委員会「逐条解説 建築基準法」（平成24年12月10日初版発行、株式会社ぎょうせい）からの抜粋

「国宝などの文化財は先人が我々に伝えた貴重な財産であり、これを保存し、後世に伝え、あるいはその活用を図って、国民 ひいては世界の文化に寄与することは我々の任務である」

5

1. 木造天守復元 天守閣木造復元イメージCG



（2016年 株式会社竹中工務店 制作）

6

1. 木造天守復元

史実に忠実な復元とバリアフリー

史実に忠実な復元が重要である一方で、
障害のある人もない人も共に木造天守を
体感していただくためのバリアフリーも
重要

7

1. 木造天守復元

バリアフリーに関する法律

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）

第6条（施設設置管理者等の責務）

施設設置管理者その他の高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する施設を設置し、又は管理する者は、**移動等円滑化のために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。**

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）

第5条（社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮に関する環境の整備）

行政機関等及び事業者は、**社会的障壁の除去**の実施についての必要かつ合理的な配慮を的確に行うため、自ら設置する施設の構造の改善及び設備の整備、関係職員に対する研修その他の**必要な環境の整備に努めなければならない。**



努力義務がある

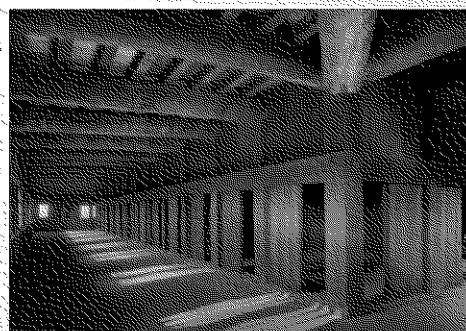
8

1. 木造天守復元 復元の方針

- 調査研究に基づく史実に忠実な復元
(昭和実測図、ガラス乾板写真、金城温古録)
- 遺構の保存に十分に配慮した整備
- 防災上の安全確保とバリアフリー
(出火防止、避難誘導、初期消火、スロープ、
昇降設備など)



昭和実測図



大天守1階西側入側（ガラス乾板写真） 9

1. 木造天守復元 復元の考え方

①柱・梁を傷めない

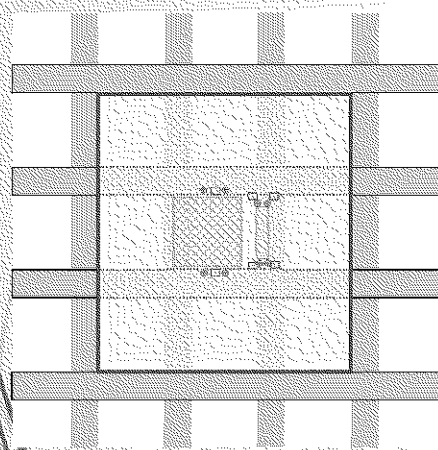
木造建築物の主要な構造部である柱や梁を切り欠いたり
取り除いたりしない。

②可逆性

取り外すことにより、往時の状態に戻ることができる

2. バリアフリー対応

一般的なエレベーターについて



凡例 : 梁 : 梁を取り除く範囲

平面図

一般的なエレベーターはサイズが大きい



梁を取り除く必要があり、設置できない



車いす利用者、高齢者、けが人等の方々の円滑な移動のための対応が必要



**木造天守閣の昇降に関する
付加設備の方針**

11

2. バリアフリー対応

木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針

○基本方針（抜粋）

- 新技術の開発には、国内外から幅広く提案を募る。
- また、協議会を新たに設置し、障害者団体等当事者の意見を丁寧に聞くことにより、誰もが利用できる付加設備の開発を行う。
- 再建後は元来の姿を見ることができるようになり、介助要員、補助具を配置することなどにより、今より、快適に観覧できるようにする。
- 例えば、昇降装置を有する特殊車両を応用し、外部から直接出入りすることや、ロボット技術を活用し内部階段を昇降するなどが挙げられる。併せてVR技術を活用した体感施設の設置を行う。

12

2. バリアフリー対応 昇降技術公募とその結果

○昇降技術の公募の概要

募集する技術

史実に基づく復元にあたり、柱や梁を傷めることのない昇降技術を募集
公募への高齢者、障害者等の参画

高齢者、障害者等からの意見を踏まえ、昇降技術を選定

・公募の結果

最優秀者	株式会社MHIエアロスペースプロダクション
提案技術	フェリー等の船舶内及び航空機搭乗機材への 導入実績のある技術をベースに開発する垂直昇降設備

13

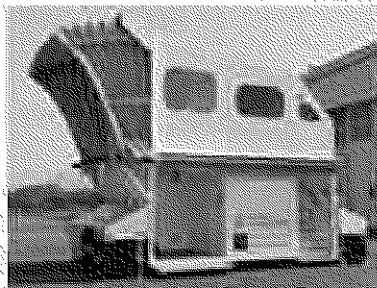
2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

○最優秀者の実績

・船舶内で実績のある昇降設備



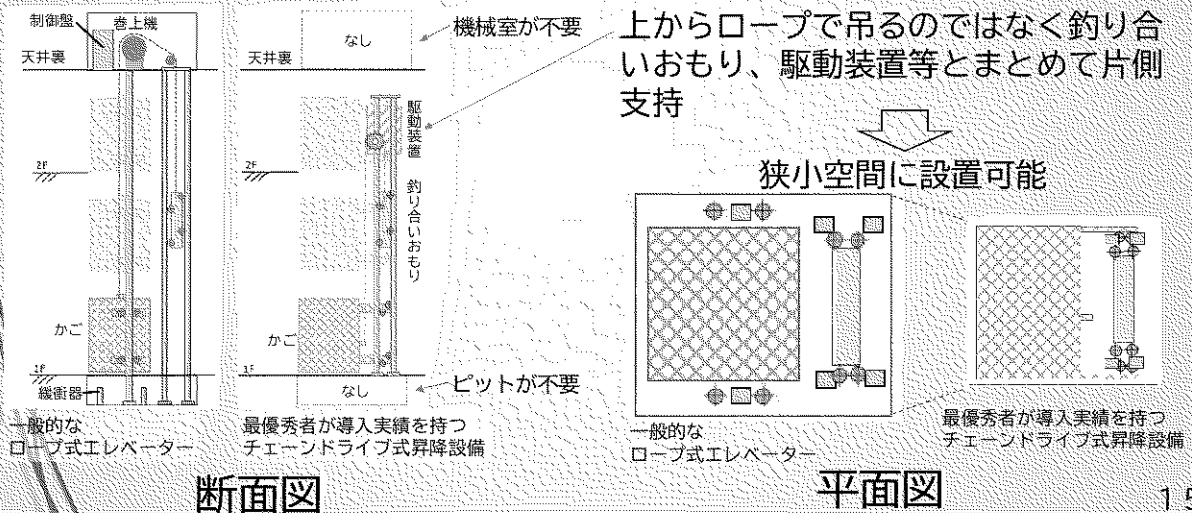
・航空機搭乗機材



14

2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

○一般的なエレベーターとの違い

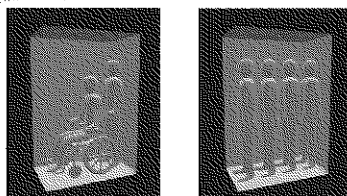


15

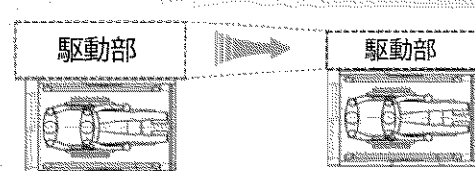
2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

○最優秀者の提案技術の概要

- ・ 定員4名または車いす利用者1名と介助者1名が搭乗可能
- ・ 木造の柱・梁を取り除かずに設置できるよう小型化
- ・ 取り外すことで、史実に忠実な状態に戻すことが可能



搭乗イメージ



小型化のイメージ

16

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？



昇降技術 なし

17

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？



昇降技術 あり
周囲との違いを明確にした場合

18

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？

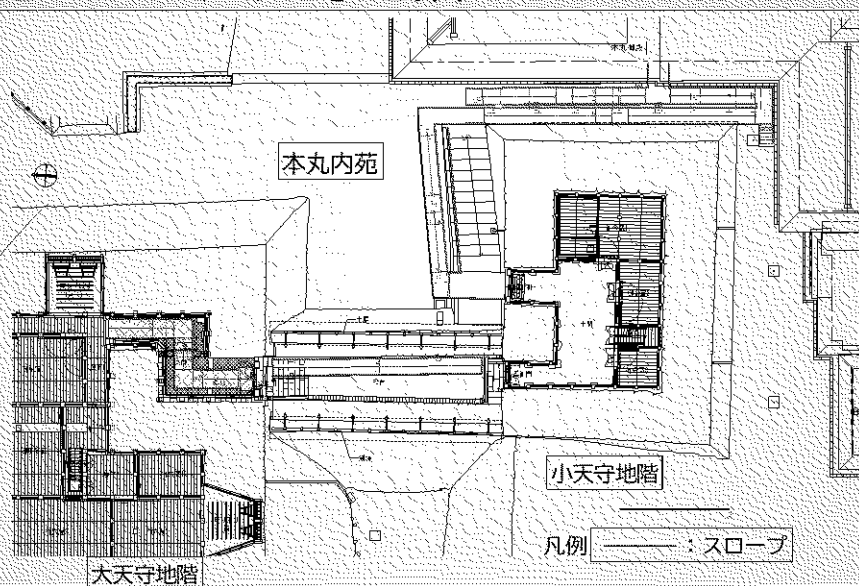


昇降技術、あり
周囲と溶け込ませた場合

19

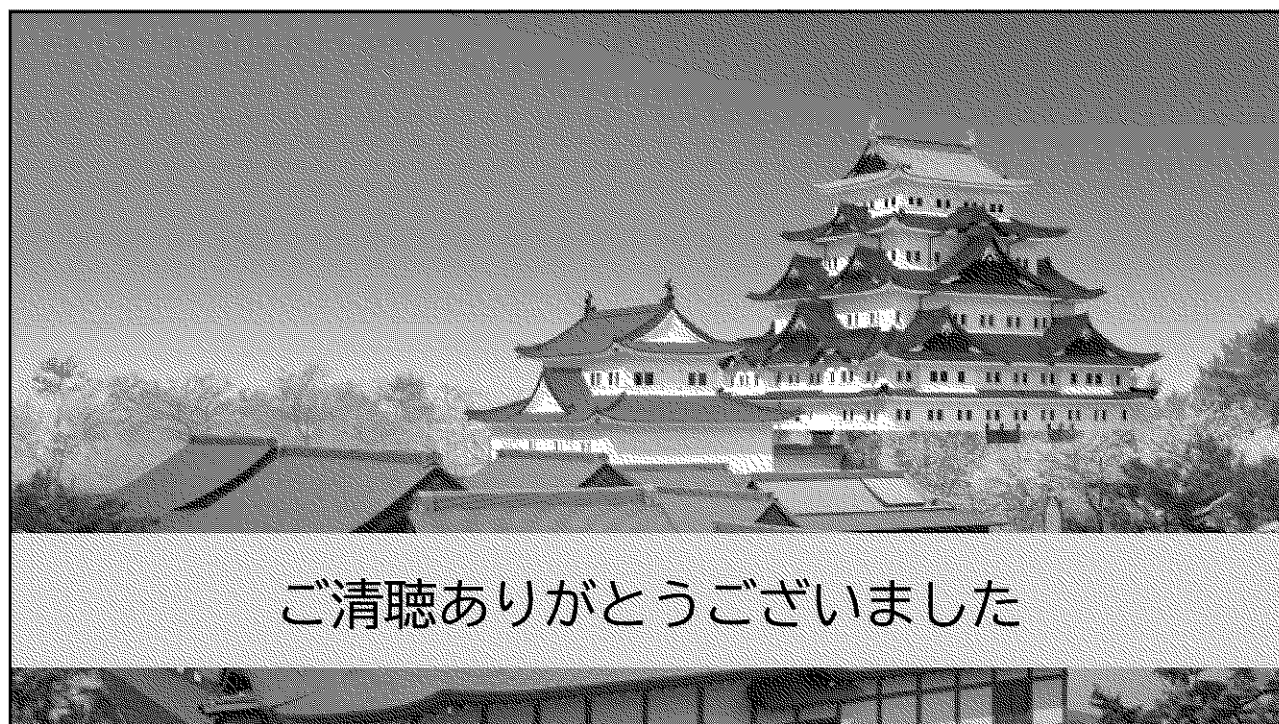
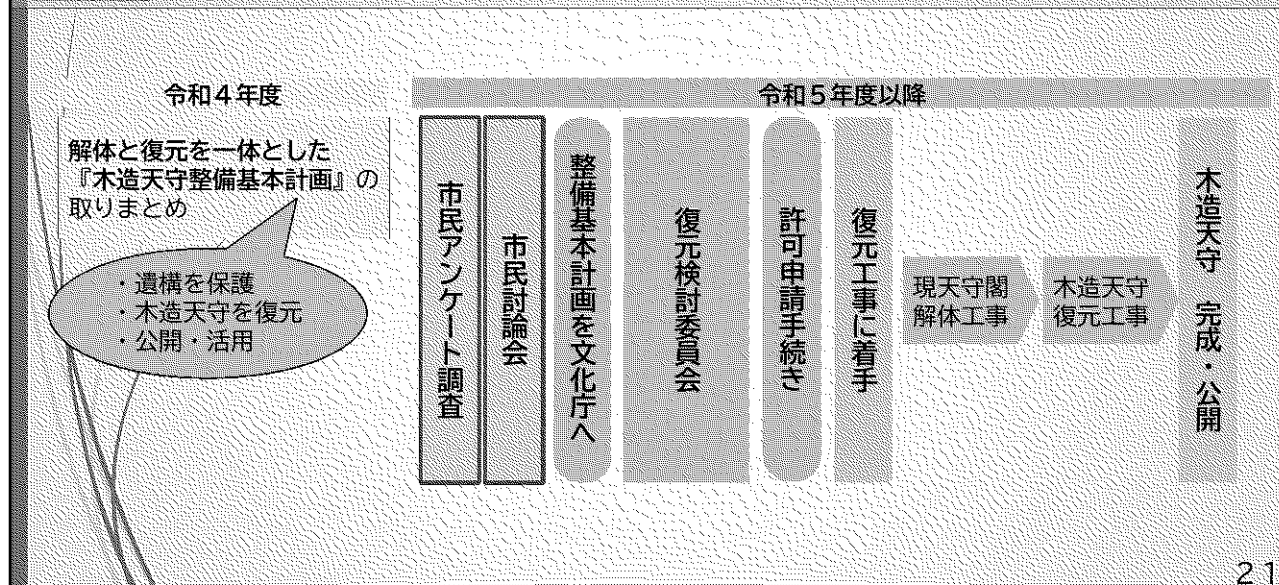
2. バリアフリー対応

地上から大天守地階までのバリアフリー対応



20

3. 木造天守復元の進捗状況と今後の予定



○6月3日（土）市民討論会
市長動線資料



広小路通り

○市長スケジュール

- ① 13:50 中区役所 到着
- ② 13:53 市長控室にて、本日の流れの再確認
- ③ 13:59 市長 会場入室
- 14:00 開会
- 14:02 市長開会あいさつ
- 16:00 市長閉会あいさつ
- ④ 16:02 閉会

- ⑤ 16:15 市長囲み取材
- 16:30 終了

※復路は往路の逆順

エレベーターで6階へ

アテンド職員待機場所

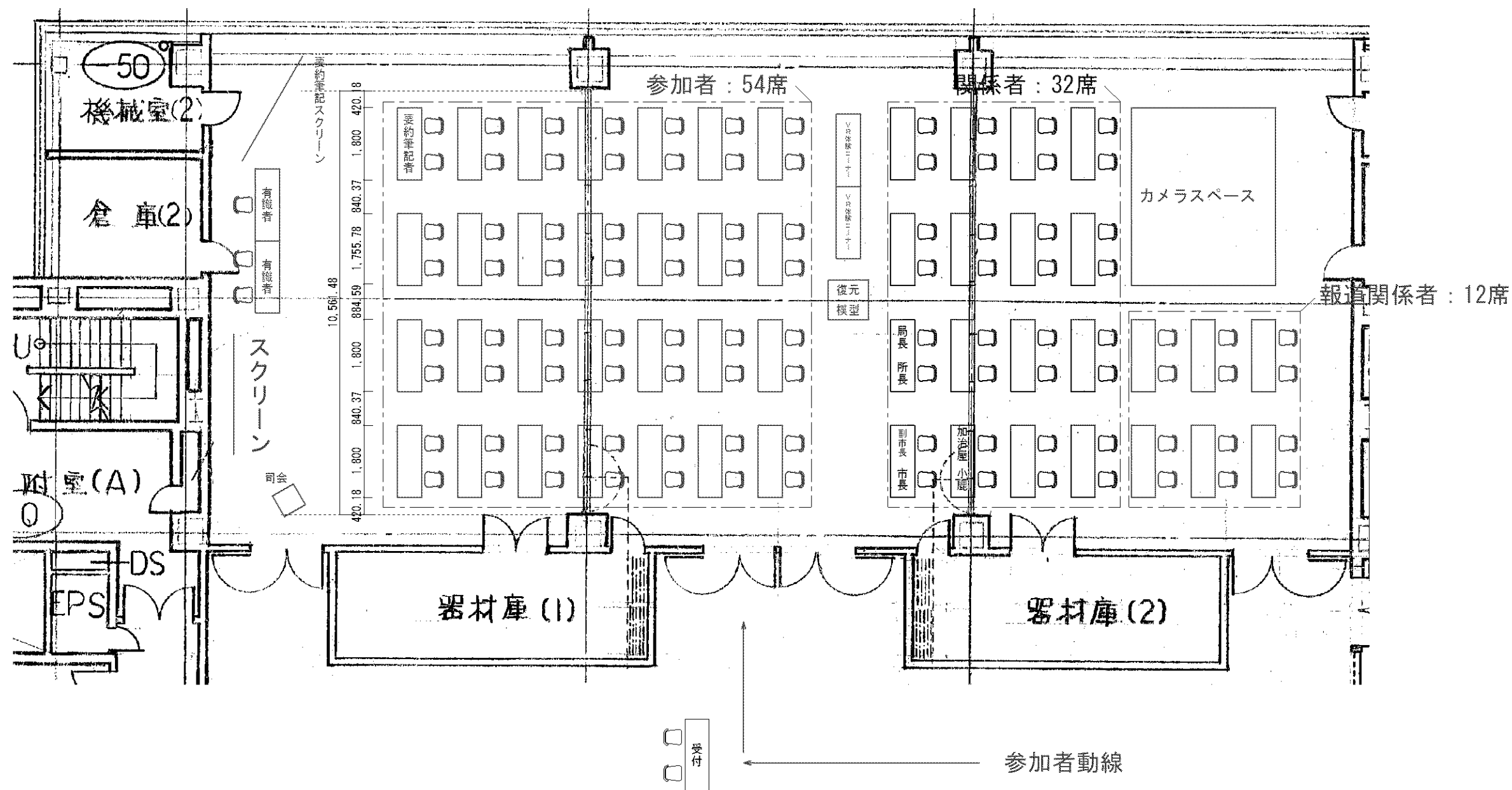
アテンド職員

名古屋城総合事務所長

主幹（木造天守閣昇降技術開発等） 上田 小鹿

乗降場所





名古屋城バリアフリーに関する市民討論会 市長挨拶

日時・場所 令和5年6月3日（土）14:00～16:10 中区役所6階会議室

＜冒頭あいさつ骨子＞

- ・本日は、名古屋城バリアフリーに関し、市民の意見を直接伺いたい。お忙しい中、お越しいただき誠にありがたい。
- ・市がこれまで取り組んできた名古屋城木造天守の復元とバリアフリーについて、きちんと知っていただいたうえで意見をいただき、そのうえでバリアフリーをどうしていくのか決めていきたい。
- ・本日は、有識者を招いているので、参考にしてもらって、理解を深めていただきたい。
- ・時間の許す限り、皆様からのご意見をいただければ幸いである。

＜終了時コメント骨子＞

- ・本日は、多くの方に様々なご意見をいただき、感謝申し上げます。
- ・本事業は、市民の精神的基柱であり、誇りである名古屋城天守閣を、悲しい歴史的史実を経て、昭和実測図や金城温古録等、豊富な歴史資料に基づき、戦災で焼失する前の本物の姿に復元し、世界に主張するものである。
- ・本日、貴重なご意見をお聞きしたので、復元する木造天守への垂直昇降技術の導入をどうしていくのか、じっくり考えたい。

＜参考＞

- 1 行事の目的
復元する木造天守への垂直昇降設備の設置について、市民から意見を聴取する
- 2 市長の立場
主催者
- 3 登壇者
司会&進行 都市研究所スペーシア 浅野、名古屋おもてなし武将隊 なつ
市長あいさつ 市長
有識者による講演 名古屋工業大学名誉教授 麓先生
名古屋市からの説明 名古屋城総合事務所長
討論会 愛知産業大学元学長 堀越先生
名古屋工業大学名誉教授 麓先生
一般社団法人バリアフリー総合研究所UDラボ東海代表理事 阿部様
- 4 当日の次第
13時00分 開場
14時00分 開会、本日の流れの説明
14時03分 市長開会あいさつ
14時05分 講演
14時35分 名古屋城木造復元とバリアフリーに関する説明
15時05分 休憩
15時15分 有識者からの解説
15時30分 討論会

<u>16時00分</u>	<u>市長閉会あいさつ</u>
16時02分	閉会
<u>16時15分</u>	<u>市長囲み取材</u>
16時30分	終了



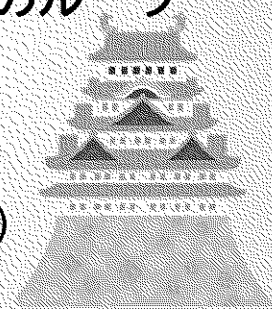
目次

1. 木造天守復元
2. バリアフリー対応
3. 木造天守復元の進捗状況と今後の予定

1. 木造天守復元

名古屋城の価値と意義

- 慶長15年（1610）築城開始
- 慶長18年（1613）以降、清須越が行われ、城下町が誕生
- 名古屋の都市形成と文化・芸能・産業のルーツ
- 焼失前の天守は、城郭として
国宝（当時）第一号に指定
（参考：国宝（当時）第二号は姫路城）

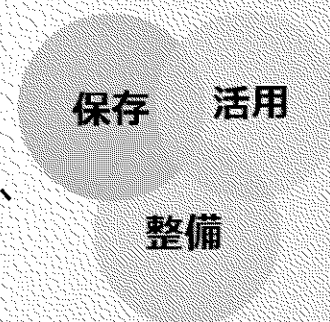


1

1. 木造天守復元

特別史跡名古屋城保存活用計画

- 平成30年度に策定
- 名古屋城を後世につなぐための**保存**、
魅力向上を図る**活用（公開）**、
保存と活用のための**整備**を進める



2

1. 木造天守復元 名古屋城「本丸」の整備

○本丸整備基本構想

近世期最高水準の技術により築城された
名古屋城の象徴である本丸の姿を現代に再現

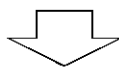
- 明治初期に姫路城とともに日本城郭の見本として永久保存されることとなった江戸期の名古屋城本丸の姿を再現する
- 現存する石垣、建造物等の適切な保存管理と現存しないものの段階的な復元等により、本丸全体を往時の姿が実体験できる場とする

3

1. 木造天守復元 名古屋城「天守」の整備

○木造天守復元の意義

世界最大級の高層木造建築物を外観に加えて、
内部空間の構造・意匠の細部に至るまで史実に忠実に復元



天守を外からの眺めと共に、天守内部に入り、体感して、
我が国の優れた文化と歴史、技術を知っていただく



特別史跡名古屋城跡の
本質的価値の向上と理解の促進

4

1. 木造天守復元 名古屋城「天守」の整備

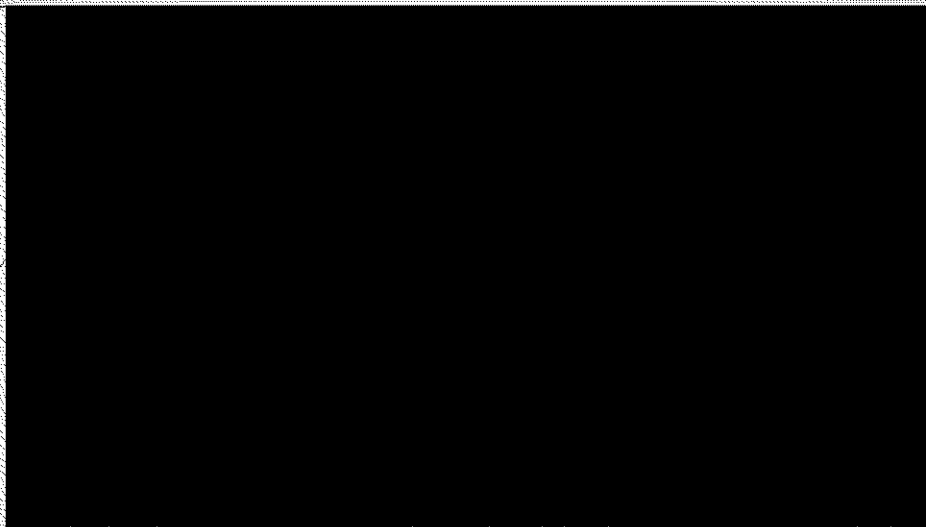
○木造天守復元の意義

逐条解説建築基準法編集委員会「逐条解説 建築基準法」（平成24年12月10日初版発行、株式会社ぎょうせい）からの抜粋

「国宝などの文化財は先人が我々に伝えた貴重な財産であり、これを保存し、後世に伝え、あるいはその活用を図って、国民 ひいては世界の文化に寄与することは我々の任務である」

5

1. 木造天守復元 天守閣木造復元イメージCG



（2016年 株式会社竹中工務店 制作）

6

1. 木造天守復元

史実に忠実な復元とバリアフリー

史実に忠実な復元が重要である一方で、
障害のある人もない人も共に木造天守を
体感していただくためのバリアフリーも
重要

7

1. 木造天守復元

バリアフリーに関する法律

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）

第6条（施設設置管理者等の責務）

施設設置管理者その他の高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する施設を設置し、又は管理する者は、**移動等円滑化のために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。**

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）

第5条（社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮に関する環境の整備）

行政機関等及び事業者は、**社会的障壁の除去**の実施についての必要かつ合理的な配慮を的確に行うため、自ら設置する施設の構造の改善及び設備の整備、関係職員に対する研修その他の**必要な環境の整備に努めなければならない。**



努力義務がある

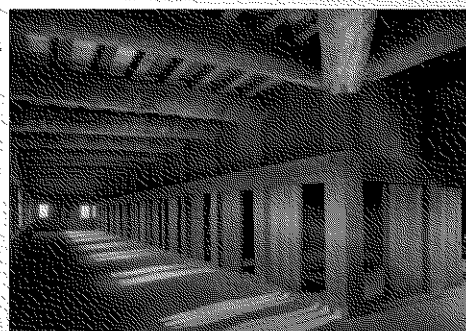
8

1. 木造天守復元 復元の方針

- 調査研究に基づく史実に忠実な復元
(昭和実測図、ガラス乾板写真、金城温古録)
- 遺構の保存に十分に配慮した整備
- 防災上の安全確保とバリアフリー
(出火防止、避難誘導、初期消火、スロープ、
昇降設備など)



昭和実測図



大天守1階西側入側（ガラス乾板写真） 9

1. 木造天守復元 復元の考え方

①柱・梁を傷めない

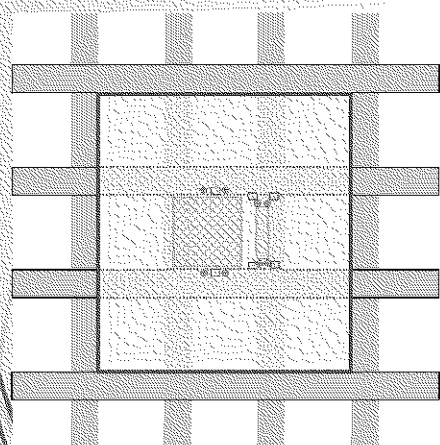
木造建築物の主要な構造部である柱や梁を切り欠いたり
取り除いたりしない。

②可逆性

取り外すことにより、往時の状態に戻ることができる

2. バリアフリー対応

一般的なエレベーターについて



凡例 梁 梁を取り除く範囲

平面図

一般的なエレベーターはサイズが大きい



梁を取り除く必要があり、設置できない



車いす利用者、高齢者、けが人等の方々の円滑な移動のための対応が必要



**木造天守閣の昇降に関する
付加設備の方針**

11

2. バリアフリー対応

木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針

○基本方針（抜粋）

- 新技術の開発には、国内外から幅広く提案を募る。
- また、協議会を新たに設置し、障害者団体等当事者の意見を丁寧に聞くことにより、誰もが利用できる付加設備の開発を行う。
- 再建後は元来の姿を見ることができるようになり、介助要員、補助具を配置することなどにより、今より、快適に観覧できるようにする。
- 例えば、昇降装置を有する特殊車両を応用し、外部から直接出入りすることや、ロボット技術を活用し内部階段を昇降するなどが挙げられる。併せてVR技術を活用した体感施設の設置を行う。

12

2. バリアフリー対応 昇降技術公募とその結果

○昇降技術の公募の概要

募集する技術

史実に基づく復元にあたり、柱や梁を傷めることのない昇降技術を募集
公募への高齢者、障害者等の参画

高齢者、障害者等からの意見を踏まえ、昇降技術を選定

・公募の結果

最優秀者	株式会社MH Iエアロスペースプロダクション
提案技術	フェリー等の船舶内及び航空機搭乗機材への 導入実績のある技術をベースに開発する垂直昇降設備

13

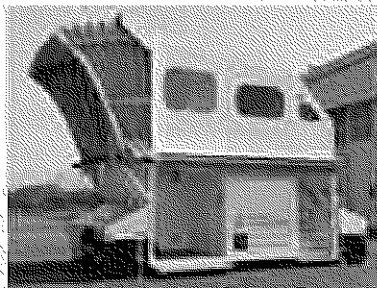
2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

○最優秀者の実績

- ・ 船舶内で実績のある昇降設備



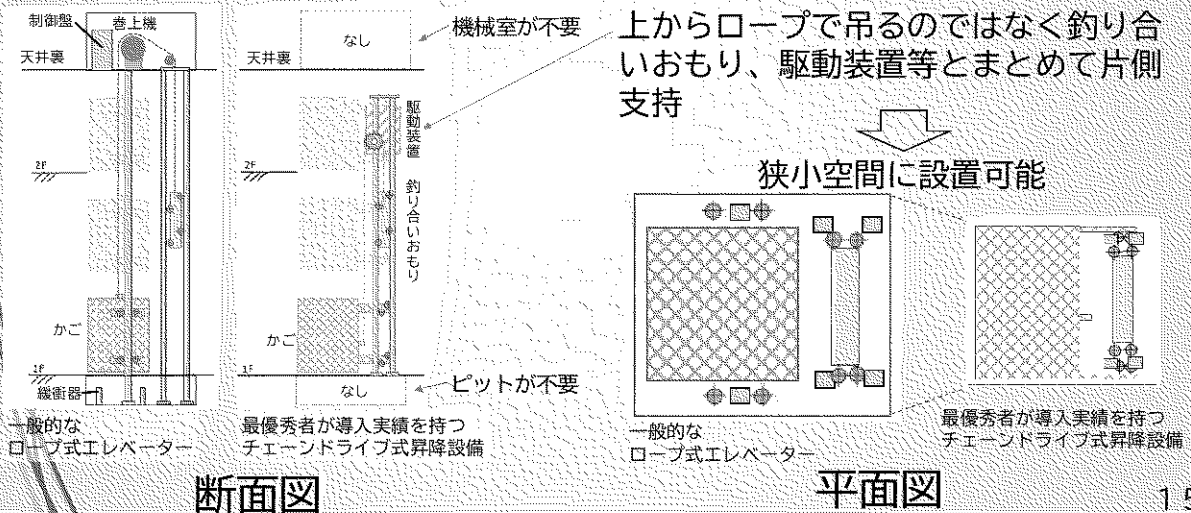
- ・ 航空機搭乗機材



14

2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

○一般的なエレベーターとの違い

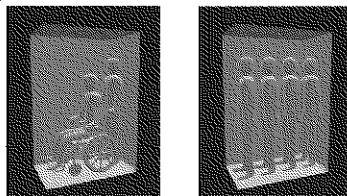


15

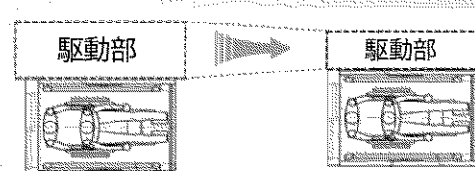
2. バリアフリー対応 最優秀者の技術

○最優秀者の提案技術の概要

- ・ 定員4名または車いす利用者1名と介助者1名が搭乗可能
- ・ 木造の柱・梁を取り除かずに設置できるよう小型化
- ・ 取り外すことで、史実に忠実な状態に戻すことが可能



搭乗イメージ



小型化のイメージ

16

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？



昇降技術 なし

17

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？



昇降技術 あり
周囲との違いを明確にした場合

18

2. バリアフリー対応

昇降技術を入れたらどんなイメージ？

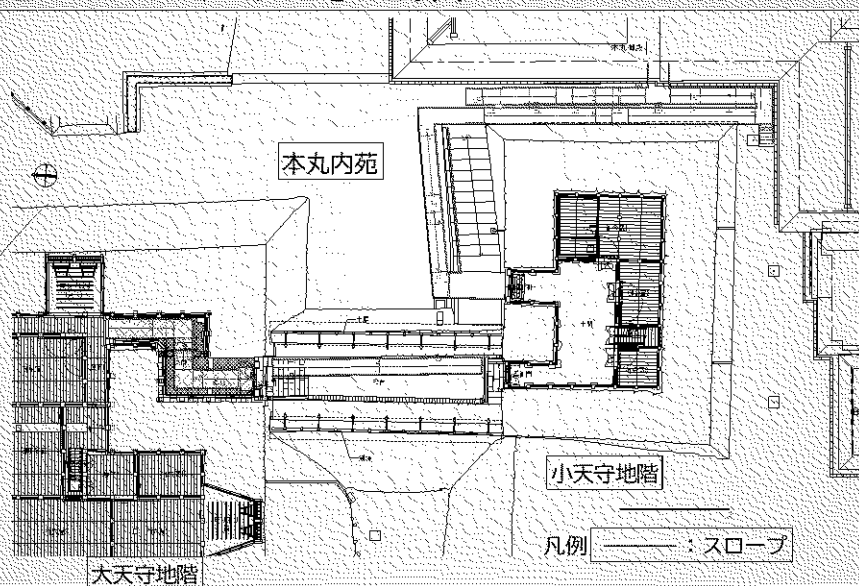


昇降技術、あり
周囲と溶け込ませた場合

19

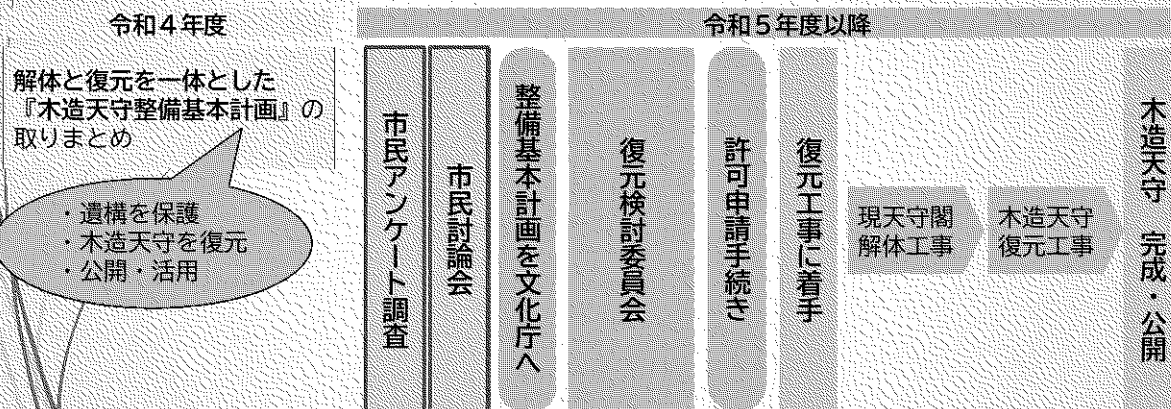
2. バリアフリー対応

地上から大天守地階までのバリアフリー対応



20

3. 木造天守復元の進捗状況と今後の予定



21



公用車ルート

次ページへ

○市長スケジュール

- ① 13:50 中区役所 到着
- ② 13:53 市長控室にて、本日の流れの再確認
- ③ 13:59 市長 会場入室
- 14:00 開会
- 14:02 市長開会あいさつ
- 16:00 市長閉会あいさつ
- 16:02 閉会
- ④ ~ 囲み取材まで控室にて待機~
- ⑤ 16:15 市長囲み取材
- 16:30 終了

※復路は往路の逆順

○市長スケジュール

- ① 13:50 中区役所 到着
- ② 13:53 市長控室にて、本日の流れの再確認
- ③ 13:59 市長 会場入室
14:00 開会
14:02 市長開会あいさつ
16:00 市長閉会あいさつ
16:02 閉会
- ④ ~囲み取材まで控室にて待機~
- ⑤ 16:15 市長囲み取材
16:30 終了

※復路は往路の逆順

